

刷新で適用範囲が拡大

露出型柱脚工法「セレクトベース」、導入好調！

建設関連製品事業や海洋事業等を展開する岡部株式会社（本社：東京都墨田区、代表取締役 社長執行役員：河瀬博英 以下「当社」）は、露出型柱脚工法「セレクトベース（2021 年発売）」を刷新し、2025 年 5 月 1 日より販売を開始しており、このたび株式会社 MTG さまの「熱田本社・研究開発センター（仮称／施主：株式会社 MTG、建設：前田建設工業株式会社）」へ納入が完了いたしました。「セレクトベース」シリーズは、発売以来柱脚被害ゼロの実績を持つ「ベースパック」の技術を活かした構造機材製品で、「設計に応じてセレクトが可能」な柱脚ヒンジタイプの露出型弾性固定柱脚工法です。



＜5 月に刷新したセレクトベース＞



＜刷新したセレクトベースが納入される株式会社 MTG「熱田本社・研究開発センター（仮称）」外観イメージ（画像提供：株式会社 MTG）＞

2021 年に発売を開始した「セレクトベース」シリーズは、建物の要求性能に応じた柱脚（鉄骨柱の脚部、特に下端部のこと）を選択できる柱脚ヒンジタイプの露出型弾性固定柱脚工法として、累計販売数約 7,000 柱（2025 年 9 月現在）と、大変ご好評をいただいております。

2025 年 5 月に刷新した「セレクトベース」（以下「本製品」）は、設計における経済性と柔軟性、現場の施工効率を両面から大きく向上させました。今回の刷新により、本製品は柱脚性能の向上により構造安全性を確保しつつ鉄骨重量を軽減することを可能にし、建設コストの削減に貢献しています。多岐にわたる設計要求に対応すべく評定を広範囲にわたって取得したことで適用範囲の拡大も実現いたしました。さらに今回の刷新では、現場での施工性向上のため、基礎と建物の土台を強固に連結させるアンカーボルトとフレーム形状を一体化しています。これにより、部材の組立てが簡素化されるとともに、適切な位置に鉄筋を配置させる配筋性が向上し、基礎工事のスピードと品質安定化に貢献します。

本製品は 2021 年の評定取得に引き続き、岡部・旭化成建材の両社が共同で、一般財団法人日本建築センターにおける一般評定（BCJ 評定-ST0314-03）を取得しております。当社および旭化成建材は今後も市場ニーズに応じた製品開発を推進し、さらなるカスタマー・セントリックを一層強化し、安全性・経済性に優れた露出型柱脚工法を提供してまいります。

「セレクトベース」の3大特長

① 建物の粘り強さを補う柱脚のため、設計上の計算負荷を低減

保有水平耐力計算時において、1 階の保有水平耐力が必要保有水平耐力の 1.1 倍以上であれば、建物の粘り強さに関して通常必要とされる設計上の措置である「構造特性係数(Ds)の割増し」が不要になりました。

② 構造物の回転剛性値が向上し、変形に耐える

従来のセレクトベースに比べて回転剛性値（外部から加えられた力に対して柱脚の固定度（変形度合い）を表す値）が約 1.23 倍向上。固定度も増して、外圧による変形にさらに強くなりました。

③ 適用される柱材（はしらざい）の適用範囲が拡大

プレスコラムの F 値 3 8 5 材など、高強度の適用柱材が追加されました。

■関連サイト・参考 URL

▶「セレクトベース」特設サイト

<https://www.select-base.net/>

▶株式会社MTG「固定資産の取得（本社・研究開発センター建設）に関するお知らせ」

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/7806/tdnet/2571748/00.pdf>

■岡部株式会社（証券コード：5959） 会社概要

1917 年（大正 6 年）、東京・押上の地に創業。「安全・安心の提供を通じて社会に貢献する」を企業理念に、耐震・免震製品などの建設関連製品事業のほか、海洋事業も展開。技術開発により被害を減らすことでの防災・減災・国土強靱化への貢献や、環境に配慮した製品開発・製造など、日本発、世界に照準を合わせて展開。建設関連製品事業等を通じて人・社会・地球との共存共栄をはかり豊かな社会づくりに貢献します。

■本件に関するお問い合わせ

岡部株式会社 ベースパック事業部 E-mail : bp-suishin@okabe.co.jp

〒131-8505 東京都墨田区押上 2-8-2 / TEL : 03-3624-5336

■岡部(株) 公式 SNS : 「X (旧 Twitter)」 @OkabearOfficial

入社 3 年目・技術開発部所属のクマ社員「オカベアー」が、
センパイ社員といっしょにお仕事風景などをお届けしています(´I`)

